



▼満開の花を咲かせた麻生原のキンモクセイ



麻生原のキンモクセイが開花

国指定天然記念物「麻生原のキンモクセイ」

9月29日（木）国天然記念物「麻生原のキンモクセイ」が満開を迎え、淡い黄色の花が放つ甘い香りが、秋の訪れを告げました。

大きな日本一と言われる「キンモクセイ」は、昭和9年に国の天然記念物に指定。麻生原居屋敷観音の境内に茂ったモクセイ科の一種のウスギモクセイで、樹齢750年以上、高さ18メートル、幹回りが3メートル。地上から4メートルのところまで3支幹に分かれています。

開花に合わせ、住民が地元で採れたクリを使ったおこわなどを見物客に振る舞うのが恒例でしたが、新型コロナウイルスの影響で今年も接待は中止となりました。

一方、平成30年に「麻生原のキンモクセイ」近くに植えられたクローン苗木が高さ1.5メートルほどまで成長し、初めて花を咲かせました。麻生原区長の福田欣一さんは、「地域の宝をこれからも見守っていききたい」と話しました。

地域の交通安全を見守る

秋の全国交通安全運動

9月21日（水）から9月30日（金）までの10日間、秋の全国交通安全運動が行われました。

本町では、甲佐町交通安全協会と交通指導員10人が町内各地の交差点で、登校する児童らが安全に交差点を通行できるよう交通整理や声掛けを実施。龍野小付近の交差点に立った交通指導員の池田健吾さん（下横田区）は、「一人一人の思いやりが交通事故防止につながります。今後も地域の安全のために活動を続けていきたいです」と話しました。



▲子どもたちの安全のために交通整理を行う池田さん



▲有浦さんの説明を聞く参加者の皆さん

防災のリーダーを育成

防災士養成講座「こうさ防災塾」

10月1日（土）、2日（日）、15日（土）令和4年度防災士育成講座「こうさ防災塾」が開催されました。

本講座は、自主防災組織のリーダーとなる人材を育成し、地域の防災力の向上を図ることを目的に、町くらし安全推進室が初めて開催。町内各地の自主防災組織のメンバーなど43人が参加し、県危機管理防災課特別顧問の有浦隆さんなどから、地域の災害特性などを学びました。同防災塾を主催した町くらし安全推進室の永井恒一室長は「地域の皆さんと一緒に災害に強いまちを作っていきたいです」と話しました。

地域で支えあう

宮内地区社会福祉協議会役員研修会

9月29日（木）宮内地区防災センターで、出前講座が行われました。

町くらし安全推進室の久米修永係長を講師に迎え、宮内地区社会福祉協議会の18人が防災について学びました。

久米係長は、「近年、大規模災害が増えていきます。災害が発生しても落ち着いた行動がとれるように、事前の準備が大切です」と説明。参加者は、災害が起きた時のための避難行動の確認やダンボールベッドの組み立てなどを体験し、防災の知識を深めました。



▲久米係長の防災に関する説明を聞く参加者の皆さん



▲星の観察を行う参加者と講師の坂本さん

子どもたちが星を観察

乙女小学校で星の観察会を開催

10月7日（金）乙女小学校で星の観察会を開催しました。同会は、星空の観察をおしえて自然や宇宙の神秘に触れてもらうことを目的に甲佐町青少年健全育成町民会議（奥名克美会長）と町教育委員会が実施。アマチュア天文家の坂本敏博さん（上田口区）が講師となり、星空や太陽系について解説。参加した子どもたち22人は坂本さんの説明を聞きながら天体望遠鏡で月や土星、木星などを観察しました。

村田心明さん（龍野小4年・下横田区）は「土星の輪っかが見えました。星のことが好きになりました」と話しました。

100歳おめでとうございます

令和4年度100歳到達者に祝い状などを贈呈



▲奥名町長から祝い状や記念品を受け取った100歳到達者の宮邊ミヨシさん（左）

9月26日（月）令和4年度100歳到達者（大正11年4月1日生～大正12年3月31日生）に祝い状などが贈呈されました。

今年度の100歳到達者は、光永トシコさん（谷内区）、渡邊シズ子さん（上揚区）、桑田トシエさん（西寒野区）、園田スミエさん（西寒野区）、赤星ユキエさん（上豊内区）、赤星信雄さん（岩下一区）、福田貞女さん（岩下一区）、米原範さん（岩下二区）、宮邊ミヨシさん（中横田区）、小原トシコさん（上早川五区）、牛島登美枝さん（世持区）、井芹春子さん（中山区）、入口モトエさん（中早川区）の男性1人と女性12人の計13人（行政区順）。

贈呈では、奥名克美町長が各到達者を訪問し、内閣総理大臣からの祝い状および記念品である銀杯を伝達。町からは、祝い金も贈呈しました。

奥名町長から祝い状を受け取った宮邊ミヨシさん（写真左）は、「皆さんに祝っていただいて、とても嬉しいです」と話しました。